



落合 康友

(青の会)

障がい者に優しいまち能代を目指して

質 市には障がい者の拠点施設となる入所施設やショートステイ施設が十分に整備されていない。社会福祉法人等がこのような事業に取り組みやすい環境を整備する構想はあるのか。

答 施設整備については、事業主体となる社会福祉法人の協力が欠かせないことから、事業者の意向を確認しながら、市としてできる限り支援していきたい。このほか、様々な環境改善の取り組みを続けていき、障がい者が生き生きと社会参画できる環境が整っていけば、人が集まる魅力あるまちになっていくと考える。

学校統廃合

質 市内2高校の再編成が計画されているが、今後の農業教育がどうなるのか不安の声も多い。希少な農業教育環境と地域拠点を守るためにも審議を重ね県に提言できないか。

答 市としては、平成16年度に統合高校を能代工業高校の現在地で整備するよう県教育長に意見書を提出していることも踏まえ、関係団体等との調整や財産の交換等の協議を進めたいと考えている。能代西高校の存続についての意見書を出すことは考えていない。

その他の質問事項

- イオン出店が及ぼす限界集落化
- 少子高齢化に対応した公園づくり
- 児童館などの室内で遊べる施設



安岡 明雄

(のしろ未来)

公共施設等の総合的な管理計画の策定

質 厳しい財政状況と人口減で施設の利用需要の変化が予想される。早急に公共施設等の状況を把握し、長期的な視点を持ち、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う必要がある。

答 本年4月に、公共施設等総合管理計画の策定について国から要請があり、指針も示された。現在、担当職員を配置して情報収集等を行い、コンサルタントの活用などについても調査・検討を進めているところであり、平成28年度までには策定を終えたいと考えている。

国が計画策定の指針で意図すること

質 計画策定後の対処が重要である。将来に備えて、全ての施設の総量など目標数値に沿って、既存施設の集約と新たな施設を調和させる管理体制や評価の実施が重要ではないか。

答 計画に記載することが望ましい事項として「適正管理に必要な民間も含めた体制整備の考え方」や「進捗状況等について評価を実施し、必要に応じ計画を改訂すること」及び「その結果の議会への報告や公表方法」についても国の指針に示されており、十分に配慮したい。

その他の質問事項

- 本因坊戦能代対局開催の招致活動
- 人口減少時代のまちづくり政策
- 大型遊具など政策過程の明確化を



渡辺 優子

(平政・公明党)

除雪対策

質 地域の除雪等の心配を緩和するために、市から除雪対策交付金として、地域自治組織へ交付し、地域コミュニティの醸成を図り、少子高齢化、人口減社会に対応すべき。

答 市では、地域で実施する排雪作業に対してオペレーターつきでダンプトラックなどの貸し出しや、高齢者や重度障がい者のみの世帯への除雪作業支援、社会福祉協議会がボランティアへ貸し出す除雪機械等の燃料費等を助成している。今後、他市町村の制度等を参考にしながら、より効果的な除雪対策を検討していきたい。

こころの体温計

質 市のホームページに、パソコンや携帯電話でアクセスし、簡単な質問に答えることで心の健康状態をチェックできる「こころの体温計」を導入し、若者の心のケアを図るべき。

答 パソコンや携帯電話を活用して気軽にみずから心の状態に気づくことができ、また、性別、年齢別、ストレス度などの統計データの把握もできることから、県の地域自殺対策緊急強化事業費補助金の活用も含めて、自殺予防対策の一つとして検討したい。

その他の質問事項

- 今後の男女共同参画
- ヘルプカードの導入